

はじめに

東京都では、企業等におけるスポーツへの意欲を高めるため、従業員のスポーツ活動を推進する取組や、スポーツ分野における社会貢献活動を実施している企業等を「東京都スポーツ推進企業」として認定する制度を、平成27(2015)年に創設しました。

制度開始から11年目となった今年度は、新規企業110社を含む企業等の認定を行い、スポーツ推進企業数は656社となりました。

推進企業の取組は多岐にわたりますが、今年度の認定では、ウォーキングイベントやラジオ体操など、従業員が気軽に参加できる取組が多く見られ、従業員の健康づくりを後押しする企業等が、着実に増加していることが見て取れました。

また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした、スポーツ大会への協賛やアスリート雇用などの活動が引き続き実施されており、大会のレガシーとして根付いていることが窺えました。

こうした企業等による取組は、スポーツ実施率の一層の引き上げが必要な働く世代に体を動かしてもらうことや、アスリートの競技活動の拡充等につながるものであり、本制度は、「東京都スポーツ推進総合計画」(令和6年度改定)においても、重要な取組の一つとして位置付けられています。

都では、こうした推進企業の取組を広くPRし、今後の企業等におけるスポーツ活動に生かしていただくため、事例集として取りまとめました。

本事例集が、企業等におけるスポーツの取組の継続・発展に寄与するとともに、従業員やそのご家族の健康増進につながれば幸いです。

※ 本事例集では、令和7年度に推進企業として新規認定された企業(110社)及び認定更新企業(317社)の取組を中心に掲載しております。その他、認定有効期間内の企業の取組については、「東京都スポーツ推進企業交流サイト(<https://www.sportscompany.metro.tokyo.lg.jp/>)」に掲載をしておりますので、ご覧いただければ幸いです。

令和8(2026)年3月
東京都スポーツ推進本部